

※5月1日～15日のテーマは

コラム（河北春秋）の意見文を読み解き、 筆者の考えや根拠を明確にしてみよう

■新聞の1面下段には、事実をもとに主張を交えて発信する社説やコラムがあります。社説やコラムは新聞社や記者の考えを発信しています。

新聞記者の方の意見を読んで、書き手の考えを想像してみましょう。コラムを書いた記者は、①何を話題にしたのか②その話題を通じて読者へなにを伝えたかったのか—を自分なりにまとめて、スクラップした記事の下段に書きそえてみましょう。

ポイント

「河北春秋」は毎日切りぬきをして、スクラップブックへ貼りつけておきましょう。河北春秋は日付も記述されていますので、整理しやすいのも利点です。

※5月16日以降に完成したスクラップブックを持ってきてください。あたらしいスクラップブック（つぎのテーマ）と交換します。

* * * * *

【ご家族の皆さま】

河北仙販では、小学生が新聞と触れ合う企画を増やし、新聞をより身近に感じてもらうことを目的に「新聞スクラップくらぶ」をスタートさせました。新聞は子どものさまざまな「力」を伸ばす身近な教材として、今年4月から「学習指導要領」に加えられ、小学校では授業に新聞が取り入れられています。

月2回テーマを変えながら、新聞記事を読み解く力、その感想を発信する力、そして持続する力が養えることができると思っています。ご家族の協力も必要です。はじめは親子で新聞をスクラップしながら、その記事についていろいろな会話をすることで、新聞に目を通す習慣が備わってくると思います。あらゆる学習の基礎となる「国語力」を伸ばすための新聞活用にご理解とご協力をお願いします。